

2026年4月14日

各位

会社名 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社
 (コード番号 4765)
 (上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)
 代表者 代表取締役社長 朝倉 智也
 開示責任者 常務執行役員 CFO 小笠原 靖行

日本株投資の新たなスタンダードへ
 『SBI 読売333インデックス・ファンド』設定のお知らせ

当社子会社のSBIアセットマネジメント株式会社(以下「SBIアセット」)は、日本株投資における新たな分散投資の指標である「読売株価指数(読売333)」に連動する投資成果をめざす公募投資信託『SBI 読売333インデックス・ファンド』(愛称:SBI 読売333、以下「本ファンド」)を、2026年4月30日に設定し、運用を開始いたしますのでお知らせいたします。

ファンド名	SBI 読売333インデックス・ファンド
投資対象資産/地域	株式/国内
信託報酬(年率・税込)	0.132%(国内最安 ^{※1})
投資方針	読売株価指数(読売333)(配当込み)に連動する投資成果をめざします。
NISA対応	「成長投資枠」および「つみたて投資枠」対象(予定) (「つみたて投資枠」対象は同指数連動ファンドとして国内初 ^{※1})
募集・設定・運用開始日	2026年4月30日(予定)

読売333は、2025年3月に読売新聞社が算出・公表を開始した新しい日本株の株価指数です。日経225、TOPIXに続く「第3の指数」として注目を集めており、国内全上場銘柄の中から流動性と企業規模を基準に選ばれた333銘柄で構成されます。

読売333最大の特徴は、すべての銘柄を約0.3%ずつ組み入れる「等ウェイト方式」を採用している点です。これにより、特定の銘柄への偏りを抑え、全国の中堅企業や地方企業を含め、日本経済の実態をよりバランスよく反映します。さらに、定期的なウェイト調整により「値上がり銘柄を売り、値下がり銘柄を買い増す」逆張り効果が自動的に働く構造となっています。

上記の分散効果は、実績においても確認されています。本指数の公表以来、読売333のパフォーマンスはTOPIXを上回っている^{※2}ほか、2025年4月の急激な相場下落(いわゆる「トランプショック」)時においても、下落幅は日経225およびTOPIXと比べて相対的に抑制されました^{※3}。

本ファンドは、読売333に連動する投資信託として最安^{※1}の信託報酬(年0.132%・税込)を実現しました。さらに、同指数連動型ファンドとして初めて^{※1}つみたてNISAにも対応しており、長期・積立・分散投資に適した新しいインデックス運用の選択肢となっております。

今後も「顧客中心主義」のもと、良質かつ低コストの運用商品を提供すると共に、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上

※1 2026年4月14日現在。ウェルズアドバイザー株式会社とのデータをもとにSBIアセット調べ。読売株価指数(読売333)に連動する公募投資信託(ETF・DC専用・SMA専用を除く)が対象。

※2、※3 配当込み、グロスのトータルリターンによる比較。Bloomberg等のデータをもとにSBIアセット調べ。過去の実績であり、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。抽出期間は※2が2025年3月24日～2026年4月10日、※3が2025年3月24日～2025年5月30日。

*****【本件に関するお問い合わせ先】*****

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社 管理本部 電話:03(6229)0812 メールアドレス:sbigam@sbiglobalam.co.jp

SBIアセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話:03(6229)0170

(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号、加入協会:一般社団法人資産運用業協会)